

出初式(多摩中央公園)



# 地域の力で守る! 多摩市消防団

第4分団  
秋原慎平第4分団  
石塚淳志

ポンプ操法大会(陸上競技場)

## 多摩市50周年物語 多摩市消防団 吉沼叔孝物語

第35回多摩市消防団ポンプ操法大会優勝 第9分団所属

杉田晃一・高野優希インタビュー



間防災安全課 (338)6802

- 2 地震発生! その時、あなたはどうする?  
3 台風接近中! どのタイミングで何をする?  
4 地域と共に~多摩市消防団~  
5 自分の「やりたい」を地域で叶えよう  
6 子ども・若者関連情報

- 7 子ども・若者関連情報、いきいきシニア  
8 元気な時からフレイル予防! 9月15日~21日は老人週間です  
9 税・市民参画・市政その他  
10 Let's 健幸まちづくり! · はたらく

- 11 献血にご協力ください、求人・募集  
12~14 講座・催し物  
15 健康だより(救急診療など)・新型コロナワクチン関連情報  
16 自殺防止! 東京キャンペーン

## 市長コラム 多摩の風 第106回

都の関連部局とも同様の情報交換を定期的に行っています。多摩直下型地震を含め、河川の氾濫・突風・雷雨・大雪などの災害は、いつ襲ってくるか分かりません。今号は漫画を取り入れた災害特集として編集してみました。「いざ」という時に備え、家族・職場・地域・友人と必要な情報を共有しておきませんか。災害は忘れた頃にやってきます。

(多摩市長 阿部裕行)

気象庁の東京管区気象台気象防災部の方とも、河川氾濫・土砂災害など警報が発令された際の手順ならびに災害時の携帯電話での情報共有について改めて確認しました。

「いざ」自然災害に備える 東北や北日本などを襲った豪雨被害。収穫を間近に控えたり煙や実り始めた稻穂が濁流に飲まれ、呆然と立ち尽くす生産農家の方々、床上浸水で家財を失った方々の胸中を思うと、とても苦しく心が痛みます。地球温暖化は私たち人類に非情とも呼べる牙を向け始めました。災害を最小限に抑え、災害時に備えるには、警察・消防などの連携とともに、消防団などの地域を支える皆さんの活動、そして市民一人ひとりの取り組みが欠かせません。

日々の仕事と生活と団活動。多摩市消防団の皆さんに改めて敬意と感謝を申し上げます。また、地域の自主防災組織の皆さんにも感謝、感謝です。

先月、さいたま新都心で国土交通省関東地方整備局長とお会いし、多摩川関戸橋の工事の進捗に感謝すると共に、減災対策と災害時の対応をお願いしてきました。



@tama\_city

@nyantomo\_tama

# 地震発生！

## その時、あなたはどうする？

問防災安全課☎(338)6802



**家具転倒防止に努めてください！**

**解説** 大地震が発生した際は、多くの方が家具の下敷きになり、亡くなったり大けがをしたりしています。次の例を参考に、日ごろから転倒防止策を講じて、被害を最小限にとどめてください！

- ・家具が転倒しないように、家具転倒防止器具などを使って壁などに固定しましょう。
- ・寝室や子ども部屋にはできるだけ家具を置かないようにし、倒れた際に出入口を塞がないように配置を工夫しましょう。
- ・手の届くところに懐中電灯やスリッパ・ホ

イッスルなどを準備しておきましょう。

※11月ごろから、65歳以上の高齢者のみで構成された世帯の方に、家具転倒防止器具の取り付けを無償で行います(器具は自己負担)。詳細は、11月ごろにたま広報や公式ホームページなどでお知らせします

**防災用品をあっせんしています！**

家具転倒防止器具や感震ブレーカーなどの地震対策用品、アルファ化米などの保存食料、避難用品がひとまとめになった避難21点セットなどの避難用品をあっせんしています。



備蓄物資は3日分くらいはあるけど避難した方がいいのかな？



# 台風接近中！どのタイミングで何をする？

問防災安全課 ☎ (338) 6802



警戒レベル1 早期注意情報



警戒レベル2 大雨・洪水注意報



警戒レベル3 高齢者等避難



警戒レベル4 避難指示

**警戒レベル4**までに必ず避難！ 「**警戒レベル5 緊急安全確保**」が発令されたら  
命の危険がせまっているため、直ちに身の安全を確保！

## 災害に備えましょう

問防災安全課 ☎ (338) 6802

### 食料・飲料などを備蓄しましょう！

災害が発生した場合に備えて、普段から飲料水や保存のきく食料を備蓄しましょう。次の内容は一例ですが、これらを非常用持ち出しバッグなどに入れて、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。

備蓄物資の購入の際には、2面で紹介した防災用品のあっせんもご利用ください。

**備蓄物資の例** 飲料水＝最低3日分（目安：1日1人3リットル）、非常食＝最低3日分（アルファ化米・乾パン・板チョコなど）、ウェットティッシュ、ペーパータオル、タオル、ビニール袋、スリッパ、現金、貴重品、印鑑、懐中電灯、携帯ラジオ、眼鏡や常備薬、モバイルバッテ

リーや充電ケーブル、携帯トイレ、プランケット、サバイバルシート  
**あなたに必要な備蓄はどれかな？**

東京備蓄ナビを使えば、質問に回答するだけでご自身の状況に合わせた必要な備蓄・持出品の目安が確認できます。「子どもがいるときはどうするの？」「高齢のおじいちゃんがいるけど何を備蓄すればいい？」などと疑問に思

う方は、ぜひご覧ください。

**災害が発生した場合にすぐに情報を集められるように、あらかじめ入手方法を確認しましょう！**

**Yahoo!防災速報アプリ**

「お住まいの地域」に多摩市を登録することで、多摩市に関する防災情報を入手できます。また、受け取る災害情報の種類を選ぶことができ、通知をオンにすればアプリを開かな

くても情報を受け取ることができます。



### 防災情報メール

多摩市から、気象情報・火災情報・地震情報・水防情報などを送信しています。登録方法などは、公式ホームページをご覧ください。



### 防災行政無線

緊急時には多摩市内に設置している防災行政無線から音声による情報発信をしています。聞き逃したときは、次の方法で放送内容を確認できます。

- ・音声で確認＝放送内容確認用電話 ☎ 050(5433)9162
- ・文字で確認＝専用サイト URL <http://tama-city.site.ktaiwork.jp>

### 多摩消防署からのお知らせ

#### 「要配慮者」を守るために

要配慮者とは、高齢者・障がい者・乳幼児や妊産婦・外国人など、災害時の避難行動や情報受伝達・避難生活などに特に配慮を要する方のことです。これまでに広く一般的に使われてきた「災害弱者」「災害時要援護者」という用語も基本的には同じ対象者を指しています。

要配慮者が安全に避難し、避難所での生活を送るためには、「自助・共助」が大切です。事前に避難場所・方法を把握したり、避難に支援が必要な場合は地域の方に協力を依頼したりしておくなど「事前の準備」を万全にしましょう。コミュニケーションが円滑に取れない方は、ヘルプカードを作成しておきましょう。

問多摩消防署予防課防火査察係 ☎ (375) 0119

